

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第2回朝霞市社会教育委員会議
開催日時	令和7年11月26日（水）午前10時から10時45分
開催場所	朝霞市民会館201会議室
出席者の職・氏名	○委員10人（田邊委員、平塚委員、蕪木委員、渡邊委員、齋藤委員、相澤委員、木村委員、小島委員、野本委員、高野委員） ○事務局5人（奥山生涯学習部長、堀川生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長、高橋課長補佐、荒井係長、内野主任）
欠席者の職・氏名	○委員5人（太田委員、伊藤委員、金子委員、蔵田委員、一石委員）
議題	報告（1）第4次朝霞市生涯学習策定事業者について 議題（1）第4次朝霞市生涯学習計画策定に係るアンケート調査について 議題（2）第4次朝霞市生涯学習計画策定に係るヒアリング調査について 議題（3）その他
会議資料	次第 資料1 第4次朝霞市生涯学習計画策定事業者について 資料2 第4次朝霞市生涯学習計画アンケート調査概要 資料3－1 朝霞市生涯学習に関するアンケート調査ご協力のお願い 資料3－2 朝霞市生涯学習に関するアンケート調査ご協力のお願い 小学5年生・中学2年生用 資料3－3 第4次朝霞市生涯学習計画策定時のアンケート調査（案） 資料4 第4次朝霞市生涯学習計画策定時のヒアリング調査（案） 当日配布 令和7年度 南部地区社会教育関係委員・職員研修会開催要項
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）

	<div> <div>電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間</div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月 </div> </div> <div>会議録の確認方法 議長による確認</div>
傍聴者の数	0 人
その他の必要事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○開 会

司会：事務局 内野主任

あいさつ：堀川部次長

：渡邊副議長

会議の公開・傍聴人について

会議資料の確認

（事務局 内野主任）

それでは、議事に移ります。

議事の進行は、朝霞市社会教育委員会議規則に基づき、金子議長にお願いするところですが、本日欠席のため、渡邊副議長にお願いします。

（渡邊副議長）

それでは、議事を進めます。

本日は、議題が複数ありますので、スムーズな進行に御協力をお願いします。

会議の途中でも傍聴希望者があった場合には、傍聴要領に沿って入場していただきますので、御了承ください。

なお、審議内容が特定の個人に関する情報を取り扱うこととなる場合など、特に配慮が必要になった場合については、その都度、委員の皆様にお諮りした上で判断していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○報 告

（１）第４次朝霞市生涯学習策定事業者について

（渡邊副議長）

それでは、報告の（１）第４次朝霞市生涯学習策定事業者について、事務局から説明をお願いします。

（事務局 荒井係長）

「資料１ 第４次朝霞市生涯学習計画策定事業者について」をお手元に御用意ください。

まず、計画策定支援業務を委託する理由ですが、生涯学習事業に関する社会的ニーズに基づく事業量を把握するため、専門的見地から調査の分析・評価を行うことを目的に行うものです。

１の契約事業者ですが、京都府京都市に本社のある「株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所」と契約を締結しました。

契約までの経過ですが、２の契約までの過程を御覧ください。

令和７年７月２４日の第１回生涯学習推進会議及び７月３１日の社会教育委員会議を経て、９月１日にプロポーザルの公募を開始しました。１社から参加申込書と企画提案等の提出があったため、１０月２日にプロポーザル審査を実施し、その１社が優先交渉権者となったことから交渉を行い、１０月３１日に契約を締結しました。

以上で、報告（１）についての説明を終わります。

(渡邊副議長)

ありがとうございました。

ただいまの説明に対し、御意見、御質問等がございましたらお願いします。

(御意見等なし)

よろしいでしょうか。

説明は以上となりますので、よろしくお願いします。

○議 題

(1) 第4次朝霞市生涯学習計画策定に係るアンケート調査について

(渡邊副議長)

それでは、次に次第の3、議題に移ります。

はじめに、(1) 第4次朝霞市生涯学習計画策定に係るアンケート調査について、事務局から説明をお願いします。

(事務局 荒井係長)

「資料2 第4次朝霞市生涯学習計画アンケート調査概要」をお手元に御用意ください。

はじめに、各種アンケート調査は、第4次朝霞市生涯学習計画を策定するに当たっての基礎資料として、市民の生涯学習ニーズを把握するために実施するものです。

次に、1 アンケート調査の対象者、対象者数ですが、17歳の市民が200人、20歳以上の市民が900人、市内で生涯学習活動を行う団体が75団体、朝霞市商工会加盟事業所が75社、市内在住の小学5年生が700人、中学2年生が200人とし、前回調査時と比べるとオンライン回答の導入や郵送料の値上げ等を踏まえた結果、全体的に約4割を削減しています。

次に、2 依頼、回答方法ですが、17歳と20歳以上の市民には、郵送で依頼し、回答はWebでお願いする予定です。市内で生涯学習活動を行う団体には、公民館を通じて手渡し若しくは郵送で依頼し、回答は最寄りの公民館に持参若しくはWebでお願いする予定です。朝霞市商工会加盟事業所には、商工会を通じて手渡し若しくは郵送で依頼し、回答はWebでお願いする予定です。小中学生には、学校を通じて依頼し、回答はWebでお願いする予定です。

次に、アンケート調査のスケジュールですが、12月初旬に各対象者に依頼し、12月末までを回答受付期間とする予定です。

次に、アンケート調査の設問ですが、「資料3-1 朝霞市生涯学習に関するアンケート調査ご協力のお願い」、「資料3-2 朝霞市生涯学習に関するアンケート調査ご協力のお願い 小学5年生・中学2年生用」、「資料3-3 第4次朝霞市生涯学習計画策定時のアンケート調査(案)」をお手元に御用意ください。

はじめに、資料3-1につきましては、市内在住の17歳、20歳以上の市民、市内で生涯学習活動を行う団体、朝霞市商工会加盟事業所に依頼する際に使用する予定です。

次に、資料3-2につきましては、小学5年生及び中学2年生に依頼する際に使用する予定です。資料3-1と異なる点としては、ルビを振っている点、説明文を簡略化した点、児童や生徒に分かる範囲で回答していただきたいと明記した点です。

次に、資料3-3について御説明します。

17歳と20歳以上の市民には、生涯学習活動状況や学習方法、活動場所、生涯学習

活動を行う上で困っていること、家庭教育に関すること、今後の生涯学習活動に関する意向、学習活動方法など、全31問の設問を予定しています。

続いて、10ページ、市内で生涯学習活動を行う団体には、活動の目的、活動における課題、利用する施設や設備の満足度、市の生涯学習事業への講師派遣など、全17問の設問を予定しています。

続いて、14ページ、朝霞市商工会加盟事業所には、地域とのつながりとしてどのような取組を行っているか、行政との連携において興味や関心があるものなど、全14問の設問を予定しています。

続いて、17ページ、小中学生には、放課後や休みの日の過ごし方や過ごす場所、公民館及び陸上競技場などの公共施設で行われたイベント等の参加状況、今後、学んだり、参加してみたいものなど、全14問の設問を予定しています。

また、前回実施した平成27年と比較して、回答者の負担を軽減するために設問数を見直したほか、ITの普及やICT及び生成AIが活用されていることから、選択肢にはICTを活用した学習活動やオンライン学習などの選択肢を新たに加えています。

以上で、議題（1）についての説明を終わります。

（渡邊副議長）

ありがとうございました。

資料1について、前回調査が令和27年になっています。

（事務局 奥山部長）

平成の誤りです。大変申し訳ありません。

（渡邊副議長）

説明の内容に対し、御意見、御質問等ありますか。

相澤委員、お願いします。

（相澤委員）

いくつかお聞きしたいのですが、アンケートの取り方について確認したいのは、資料3-3の2ページ目で「この1年くらいの間に、『生涯学習活動』を行いましたか。」という、ここからアンケートがスタートしてくると思うんですが、こちらへ来る前に生涯学習の前回策定された資料の概要をざっと見てきたのですが、1枚目か2枚目に、小学生のセリフで、「生涯学習ということが分かりました。表を見ると私たちの生活は全てが生涯学習なんですね。」というようなことが書かれていたので、そもそも生涯学習ってこういうことをいいますよ、ということがないままにアンケートがスタートしてしまうと、結構ばらつきが出てしまうのではないかなと思うのですが、それはそれで構わないというなら全然問題はないのですが。

例えば、ゴルフを習いに行くのは生涯学習なのか、習わずに打ちっ放しは生涯学習なのかなど、どうなんだろうという選択肢がものすごく増えてきてしまうのかなと思うので、定義のような物を示してもらえると困らずに済むと思います。

（渡邊副議長）

事務局、お願いします。

（事務局 堀川部次長）

資料3-1及び3-2、アンケート調査の表紙の用語説明のところには生涯学習につ

いてのコメントはあるんですが、このアンケートの始まるのところにそういった説明が記述できるか検討していきたいと思っています。

（相澤委員）

資料３－３の３ページの間９の設問中にある間１０の標記ですが、間７の誤りだと思います。

それから、１０ページの間２、生涯学習を行う団体向けのアンケートでは、会員の平均年齢を聞いている一方で、１４ページの間３、事業書向けに対しては平均年齢ではなく最も多い世代を聞いているのは、こういった意図があるのかなと思いました。

（渡邊副議長）

事務局、いかがですか。質問の趣旨と回答はこういうのを求めたいというリンクのところだと思いますが。

（事務局 荒井係長）

御意見ありがとうございます。資料３－３の３ページの間９については修正させていただきます。

次に１０ページの間２及び１４ページの間３についてはあまり違いはありませんので、ここは持ち帰って統一に向けて検討させていただきたいと思います。

（相澤委員）

資料３－３の１２ページの団体向けアンケートの間１５の選択肢が、団体向けというよりは受講者個人の選択肢が半分以上占めているんですね。自分の何かに生かしているとか。これだと主催者に対するアンケートではなくて、受講者向けのアンケートが選択肢として混ざってしまっているの、ここは御確認いただきたいと思いました。

最後に、１７ページの小中学生向けのアンケートの間５、「ふだんの生活で、次のようなことを１日に平均してどのくらいの時間、行っていますか。」で、テレビ、インターネット、メール、本、新聞、ゲーム、オンラインゲームというのがありまして、純粋に何を知りたいのかという質問なんですが、お願いします。

（事務局 荒井係長）

この質問につきましては、放課後や土日に小中学生がどのように過ごしているかという実態を把握して、本人も知らないうちに行っているのかというのを把握するために設けた設問です。１０年前にも同じような設問を設けまして、それと比較してどういった傾向が見られるのか経年変化で比較するために作成した設問となっています。

（相澤委員）

ありがとうございます。資料３－３の１７ページの間６はそういう意図なんだろうというのが分かるんですよ。放課後とか休日はどういうことをやっていますか。家で過ごしていますよ、ゲームをやっていますよ、と分かるんですが、間５の選択肢が広いと思います。

（渡邊副議長）

資料３－３の１７ページの間５は設問が増える感じですよ。

(事務局 荒井係長)

おっしゃるとおりです。

(相澤委員)

なるほど分かりました。私からは以上です。ありがとうございます。

(渡邊副議長)

個人的には、We bで回答するというのはなかなか慣れないことなので、ページをめくるのがパソコンやタブレット機器を使っても難しいなと思います。ただし、今の子供は学校でタブレットを使い出したり、いろいろと環境は変わってきており、アクセスしてもらえるかと思います。

ほかに、いかがでしょうか。小島委員、お願いします。

(小島委員)

資料3-3の小学生、中学生向けのアンケート調査ですが、17ページ、別紙でアンケート調査(案)のところ、資料の3-2は、小学校5年生では十分読めるだろうなというところにルビが振ってあるんですが、17ページ以降の設問にはルビが一切ないんですが、これはどんな感じでしょうか。

(事務局 荒井係長)

小学5年生も中学2年生もWe bで回答していただくんですが、このアンケートフォーム自体、ルビを振る機能を備えていないため、この漢字の後ろに括弧書きでカタカナを追記するかというのを検討しなければいけないと思います。ただ、システム上の文字数制限というのもありますので、そこはもう少し検討したいと思います。

(小島委員)

ありがとうございます。やはり漢字が難しいと、設問を飛ばしてしまったりするかなと思うので、できれば小学校5年生には難しいかなというところには、調べると教科書で習う漢字というのが出てくると思うので、振っていただければと思います。

(齋藤委員)

資料3-3の小学5年生、中学2年生への調査ですが、子供たちの実態を知るという意味では非常に重要なことだと思いますし、大事にしていかなければいけないことだと思うんですが、学校の方に配付ということで、学校側から子供への説明的なものはあるのか、それともただ配るだけで、もし質問するとしたら親御さんがヒントを与えるということになるんだろうと思いますが、その辺りのことを教えてください。

(事務局 荒井係長)

児童に対しましては、担任から資料3-2を直接渡してもらう形になります。ただし、学校の先生の負担軽減というところもありますので、先生には配付だけをお願いし、調査内容に対する質問につきましては、児童若しくは保護者から直接生涯学習スポーツ課にお問い合わせいただきまして、こちらで説明を差し上げる予定です。

(渡邊副議長)

配付に関しても、今後も必然的にそういう手間が出るとはありますが、よろしくお願いします。

田邊委員、お願いします。

(田邊委員)

資料３－３の小中学生向けアンケートの回答が小学生には非常に難しいかなと率直に感じます。というのは、生涯学習という言葉自体、恐らく担任自体もよく理解していないと思います。そのため、担任に向けた説明原稿があるといいと思います。生涯学習をスマホで調べたら、家庭教育、学校教育、社会教育となっています。子供のことになると、塾とかスポーツ少年団とか、結構具体的なことがいっぱい書いてあり、全部まとめてきっと生涯学習なんだと思います。そこが分かるような文言がある担任向けの原稿が欲しいと思いました。

それから、このアンケートは担任が説明して渡して家庭でやるのか、それとも家でやるのかというところをもう一度確認したいです。また、それは紙なのか、それともタブレット上でやるのか確認します。

(事務局 荒井係長)

この依頼文につきましては、紙で配付することを予定しています。紙を学校にお届けして、担任の先生からクラスに配付をしていただく予定です。児童や生徒の回答につきましては、学校の休み時間を利用して回答していただいても結構ですし、御自宅に持ち帰っていただいて自身のタブレットで読み取った上で回答していただいても結構です。なるべく学校の授業の妨げにならない時間に実施をお願いしたいと思っています。

(田邊委員)

担任が気にするのは、この子は答えたか答えなかったかという確認なんですけど、学校で一斉にやると、全員やったなということが確認ができるんですけど、紙だけ渡して家で回答だと、半分も回答するかどうか分からないと思います。ですので、これは市としてやってほしいですとなれば、学校でやるしかないのかなと思っています。家庭でやっていいとなると、回答が集まらないと思うので積極的に働きかけた方がいいと思います。

(齋藤委員)

田邊委員と同意見なんですけど、私もかつて学校に勤めていたときに、社会教育的なものへの参加というのは、学校の教員がいろいろなヒントだとか呼びかけとか、そうすることで集まる場合って結構あるんです。また、いろいろな家庭がありますので、意識の高い家庭もあるし、そうではない場合もあります。学校でやってもいいし家庭でやってもいいというのは、かなり回答に誤差が出てくるのではないかなという気もしますが、ただ、先生方の負担等々もあるのでそうしているということも理解できますが、そこをもう少しはっきりした方がより良い回答が出てくるかなというふうに思いました。以上です。

(事務局 堀川部次長)

心強い御指摘をいただきまして、ありがとうございます。私どももアンケートをやる以上は多くの回答をいただきたいので、先ほど田邊委員がおっしゃった担任の先生に向けての説明文、または、校長会議や教頭会議でも私の方で説明させていただくので、なるべく時間の許す限り、授業または学校内でお願いしたいということは申し添えたいと思っています。以上です。

(田邊委員)

アンケートを１２月に実施するという事は、説明するタイミングがなかなか難しいと思います。校長会で話すとなると、いつお話しされる予定ですか。

(事務局 荒井係長)

直近の校長会議は１２月１日を予定していますので、その場で説明する予定です。その後、速やかに書類を用意して各校にお届けしたいと考えています。

(田邊委員)

そこで説明があって、教育長からも依頼があると指示が通りやすいと思います。

(木村委員)

あまり的を射た質問ではないかもしれませんが、小中学生向けアンケートは、学校でやっていただけるというのが一番良いだろうなと私も客観的に思います。その際に、特に小学５年生の場合は、分からない言葉があった場合に先生に質問するというのはＯＫであればいいなと思います。分からない設問に出会ったときに、分かりませんと言ってどういう言葉でも教えてもらえるというのは、それは授業時間を割いてでも十分に同じぐらいの価値はあるのかなという気がいたしますので、学校でやっていただいて、分からない言葉は説明していただきながらというのでもいいのかなと思いました。

(平塚委員)

何点か質問をさせてください。まず、資料２ですが、１のⅢとⅣの生涯学習活動を行う団体と商工会加盟事業所の７５団体と７５社というのは、それ以上の団体等がある中で抽出すると考えてよろしいでしょうか。

(事務局 荒井係長)

こちらの団体と事業所については、７５以上の団体、事業所があると捉えています。その中で団体活動については様々な分野から合計７５団体を抽出していただく予定です。商工会加盟事業所については、従業員数が多い事業所から上位７５社を選定していただき、アンケート調査を依頼する予定です。

(平塚委員)

それから、小学校と中学校の学年は、全児童・生徒が対象で抽出ではないということで理解してよろしいですか。

(事務局 荒井係長)

小学５年生につきましては、１クラス３５人学級ですので、１校当たり２クラス７０人、対象校１０校で７００人という設定をしています。中学２年生につきましては、１クラス４０人、対象校５校で、２００人という設定をしています。

(平塚委員)

次に、資料３－３の１０ページです。複数会場、複数地域での練習、活動をしている団体もあるかと思いますので、例えば一つに限定するのであれば、「主な施設はどこですか」とか、「主な地域は」とか、「主な」という言葉を入れていただいた方がいいと思います。また、午前、午後などの選択肢に、午前及び午後などの選択肢を追加した方がいいと思います。

それから、１７ページの小中学生向けですが、問４の質問の中に「※問４は朝霞市内にお住まいの方」という表現があるのですが、ここは市外から通っている児童、生徒さんを想定しているのか。基本的に朝霞市の小中学校であれば朝霞市民のお子さんということを考えると、あえてここを書かなければならないのかなと思いました。

問５については、先ほど相澤委員からも御質問があった内容なんですが、「ア～オの項目ごとに１つずつ○（マル）」とあるんですが、「カ」もあるので、「ア～カの項目ごと」と表記した方がよいと思いました。

最後になりますが、１６ページに戻ります。問１３に「あさか学習おとどけ講座」の言葉がありますが、「あさか学習おとどけ講座」の概要を注釈で入れるとか、こんなメニューがあるよということを分かっていた方が、設問の中で回答をしやすいのではないかと思います。以上です。

（事務局 荒井係長）

様々な御指摘をありがとうございます。持ち帰って検討させていただきたいと思います。

（渡邊副議長）

よろしいでしょうか。生涯学習の捉え方は個人によって、枠組みがはっきりしているようではっきりしていないところがあるので、その辺の認識によって回答が偏るのかなという気がします。そもそも生涯学習にはアバウトな部分がたくさんあるので、その辺がうまく表現された結果になってくれればいいところですが、設問によってその偏りが大きすぎてもデータとしても難しいと思います。

ほかに、いかがですか。よろしいですか。

○議 題

（２）第４次朝霞市生涯学習計画策定に係るヒアリング調査について

（渡邊副議長）

それでは、次に議題の（２）第４次朝霞市生涯学習計画策定に係るヒアリング調査について、事務局から説明をお願いします。

（事務局 荒井係長）

「資料４ 第４次朝霞市生涯学習計画策定時のヒアリング調査（案）」をお手元に御用意ください。

はじめに、対象者は公民館や図書館等の社会教育施設や社会体育施設を利用される方とし、市の職員が社会教育施設等に出向いて市民からヒアリングを行うことにより、アンケート調査では把握が困難な課題やニーズを把握する方法として、新たな取組として実施します。

対象施設は、公民館、図書館、博物館、屋内スポーツ施設として総合体育館、屋外スポーツ施設として陸上競技場といった社会教育施設や社会体育施設のほか、児童館や市民センターを予定しています。対象者数は、１施設あたり１０人程度とする予定です。実施期間は、本年１２月から来年１月にかけて実施する予定です。

主な設問は、日ごろ利用している公共施設や利用頻度、施設の満足度、学習方法など、全１２問の設問を用意するとともに、自由テーマとして、生涯学習に関する情報入手方法や人とのつながりに関する設問についてもヒアリングを行う予定です。

以上で、議題（２）についての説明を終わります。

(渡邊副議長)

ヒアリング調査ということで、利用者の実態調査という感じですね。その関係の設問とその内容について、いかがでしょうか。

蕪木委員、お願いします。

(蕪木委員)

問7、「公共施設を利用する時間はいつですか。」で○(マル)を一つ付けてくださいとありますが、例えば、午前中なのか午後なのか夜間なのかですが、午前中あったり、午後あったりという方が結構いると思うんです。そういう意味では、○(マル)を複数にするのか、あるいは中身を付け加えた方がいいのかということが疑問になりました。

それから、問8の「公共施設を利用」の「利用」が二つ入っているので修正をお願いしたいと思います。以上です。

(事務局 荒井係長)

御指摘ありがとうございます。修正については速やかに行います。公共施設を利用する時間帯については、様々な利用方法があると思いますので、御意見を踏まえて選択肢を増やしたいと思います。

(事務局 堀川部次長)

併せて、先ほど平塚委員から御指摘のあった問5についても、「主に」を加えることについて検討していきたいと思います。

(渡邊副議長)

これは、いらしている方に対面でアンケートを取る形ですか。

(事務局 荒井係長)

おっしゃるとおりです。

(渡邊副議長)

ほかになれば、次の議題に進みます。

○議 題

(3) その他

(渡邊副議長)

議題の(3)その他について、事務局から説明をお願いします。

(事務局 荒井係長)

2点あります。まず1点目ですが、次回の第3回社会教育委員会議につきましては、令和8年3月に開催する予定です。第3回会議では、各調査結果や令和8年度のスケジュール等について報告させていただく予定です。

2点目ですが、本日机上に配付しました「令和7年度 南部地区社会教育関係委員・職員研修会開催要項」ですが、こちらは埼玉県から届きまして、例年こういった御案内があった場合は、皆様に御説明をさせていただいて、市の方で出欠を取りまとめた上で県に報告をしています。つきましては、来月12月12日金曜日までにメールやFAX、

お電話でも結構です。御出席されるか否かを高橋若しくは荒井宛てに御連絡いただければ幸いです。

以上で、議題３についての説明を終わります。

（渡邊副議長）

ありがとうございました。

ZOOMの研修会ですね。

（事務局 荒井係長）

ZOOMの研修です。また、本研修会の補足ですが、ZOOMのパソコンやプロジェクター、お部屋については市の方で御用意をさせていただきます。例えばこういった会議室にプロジェクターとスクリーンを御用意し、我々と一緒にその研修に参加するというような形になります。研修の最後には各市町村内での意見交換というような項目もあるようですので、意見交換をして社会教育の推進に努めてまいりたいと思っています。以上です。

（渡邊副議長）

そのような予定が入っているということで、よろしくお願ひしたいと思います。

以上で、本日予定しておりました全ての議題が終了いたしました。皆様の御協力、ありがとうございました。

貴重な御意見をいただきまして、アンケートもよりスムーズにできるといいなと思います。よろしくお願ひします。

それでは、私は議長の役目をここでおろさせていただきます。

（事務局 内野主任）

渡邊副議長、ありがとうございました。

本日は、長時間にわたり御審議等いただきまして、ありがとうございました。

これをもちまして、令和７年度第２回朝霞市社会教育委員会議を終了いたします。ありがとうございました。